

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限	
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドの受益証券
	ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド	海外の債券
マザーファンドの運用方法	<p>①主として、エマージング諸国の現地通貨建債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケットズ ブロードの構成国を参考に投資対象通貨を選定します。</p> <p>ロ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州・中東・アフリカ地域、アジア地域、中南米地域の3地域へ均等とすることをめざします。</p> <p>ハ. 各地域ごとに3通貨を選定して均等に配分することをめざします。通貨の選定にあたっては、各国の金利水準、経済ファンダメンタルズ、流動性等から判断し、年2回以上見直しを行ないます。なお流動性、市場状況等によっては通貨数が異なる場合があります。</p> <p>ニ. 投資する債券は、各国の政府、政府関係機関および国際機関等が発行するものとし、取得時においてB B格相当以上（ムーディーズでB a 3以上またはS &amp; PでB B-以上）とします。</p> <p>ホ. ポートフォリオの修正デュレーションは1（年）程度から3（年）程度の範囲とします。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、安定した分配を継続的に行なうことをめざします。1月と7月の計算期末については、上記継続分配相当額に付加して分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンド（当ファンド）とし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行なう仕組みです。

# ダイワ・エマージング 高金利債券ファンド (毎月分配型)

## 運用報告書(全体版)

第107期 (決算日)	2017年2月15日)
第108期 (決算日)	2017年3月15日)
第109期 (決算日)	2017年4月17日)
第110期 (決算日)	2017年5月15日)
第111期 (決算日)	2017年6月15日)
第112期 (決算日)	2017年7月18日)

### 受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

さて、「ダイワ・エマージング高金利債券ファンド(毎月分配型)」は、このたび、第112期の決算を行ないました。

ここに、第107期～第112期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

お問い合わせ先 (コールセンター)

TEL 0120-106212

(営業日の9:00～17:00)

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

最近30期の運用実績

決算期	基準価額			J Pモルガン GB I - E M グローバル ダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
83期末(2015年2月16日)	6,094	50	△ 1.4	15,183	△ 0.3	96.5	6,161
84期末(2015年3月16日)	5,773	50	△ 4.4	14,511	△ 4.4	95.8	5,755
85期末(2015年4月15日)	5,817	50	1.6	15,048	3.7	95.5	5,767
86期末(2015年5月15日)	5,872	50	1.8	15,214	1.1	95.6	5,796
87期末(2015年6月15日)	5,811	50	△ 0.2	15,076	△ 0.9	95.5	5,710
88期末(2015年7月15日)	5,746	50	△ 0.3	15,109	0.2	96.0	5,560
89期末(2015年8月17日)	5,429	50	△ 4.6	14,447	△ 4.4	94.4	5,223
90期末(2015年9月15日)	5,011	50	△ 6.8	13,309	△ 7.9	94.4	4,747
91期末(2015年10月15日)	5,071	50	2.2	13,717	3.1	94.7	4,770
92期末(2015年11月16日)	5,018	50	△ 0.1	13,757	0.3	95.3	4,683
93期末(2015年12月15日)	4,771	50	△ 3.9	13,074	△ 5.0	95.8	4,423
94期末(2016年1月15日)	4,563	50	△ 3.3	12,673	△ 3.1	96.0	4,188
95期末(2016年2月15日)	4,385	50	△ 2.8	12,515	△ 1.2	95.6	4,004
96期末(2016年3月15日)	4,576	50	5.5	13,310	6.4	96.1	4,169
97期末(2016年4月15日)	4,525	50	△ 0.0	13,435	0.9	97.2	4,115
98期末(2016年5月16日)	4,351	50	△ 2.7	13,075	△ 2.7	93.8	3,941
99期末(2016年6月15日)	4,176	50	△ 2.9	12,695	△ 2.9	96.3	3,766
100期末(2016年7月15日)	4,283	50	3.8	13,363	5.3	95.7	3,853
101期末(2016年8月15日)	4,133	35	△ 2.7	13,047	△ 2.4	95.9	3,714
102期末(2016年9月15日)	4,056	35	△ 1.0	12,884	△ 1.3	94.8	3,591
103期末(2016年10月17日)	4,117	35	2.4	13,205	2.5	95.0	3,606
104期末(2016年11月15日)	4,010	35	△ 1.7	12,681	△ 4.0	94.7	3,494
105期末(2016年12月15日)	4,360	35	9.6	14,176	11.8	94.5	3,751
106期末(2017年1月16日)	4,238	35	△ 2.0	13,833	△ 2.4	94.2	3,617
107期末(2017年2月15日)	4,366	35	3.8	14,251	3.0	95.8	3,687
108期末(2017年3月15日)	4,331	25	△ 0.2	14,281	0.2	96.0	3,525
109期末(2017年4月17日)	4,199	25	△ 2.5	13,936	△ 2.4	95.8	3,341
110期末(2017年5月15日)	4,392	25	5.2	14,786	6.1	95.1	3,469
111期末(2017年6月15日)	4,306	25	△ 1.4	14,739	△ 0.3	95.8	3,358
112期末(2017年7月18日)	4,375	25	2.2	15,118	2.6	94.7	3,303

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) J Pモルガン GB I - E Mグローバル ダイバーシファイド (円換算) は、J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックスエマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックスエマージング・マーケット グローバル ダイバーシファイド (米ドルベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J. P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J. P. Morganからの書面による事前承諾なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められません。Copyright 2016, J. P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

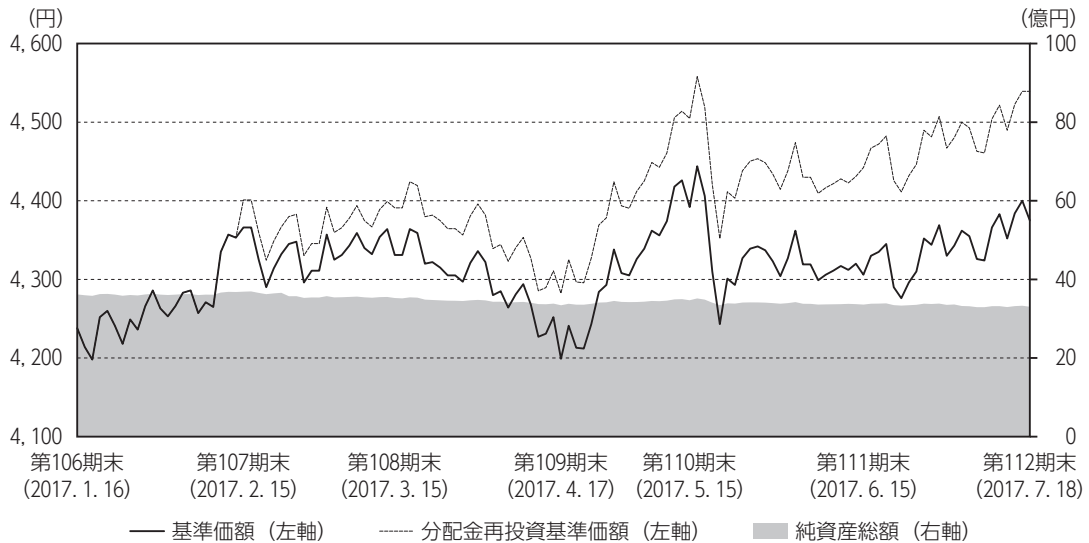
(注4) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



## 運用経過

### 基準価額等の推移について



\* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものであり、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

\* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまが利用するコースにより異なります。また、分配金の課税条件は、ファンドの購入価額により異なります。

#### ■ 基準価額・騰落率

第107期首：4,238円

第112期末：4,375円（既払分配金160円）

騰落率：7.1%（分配金再投資ベース）

#### ■ 基準価額の主な変動要因

主として「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を通じて、新興国通貨建ての債券に投資した結果、各国の通貨が円に対して上昇したことや投資している債券の値上がり、債券の利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）

	年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M グ ロー バ ル ダ イ バ ー シ フ ァ イ ド (円換算)		公 社 債 入 率 公 組 比
			騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
第107期	(期首) 2017年 1月16日	円 4,238	% —	13,833	% —	% 94.2
	1月末	4,263	0.6	13,934	0.7	95.7
	(期末) 2017年 2月15日	4,401	3.8	14,251	3.0	95.8
第108期	(期首) 2017年 2月15日	4,366	—	14,251	—	95.8
	2月末	4,311	△ 1.3	14,159	△ 0.6	94.9
	(期末) 2017年 3月15日	4,356	△ 0.2	14,281	0.2	96.0
第109期	(期首) 2017年 3月15日	4,331	—	14,281	—	96.0
	3月末	4,336	0.1	14,510	1.6	95.8
	(期末) 2017年 4月17日	4,224	△ 2.5	13,936	△ 2.4	95.8
第110期	(期首) 2017年 4月17日	4,199	—	13,936	—	95.8
	4月末	4,305	2.5	14,396	3.3	95.8
	(期末) 2017年 5月15日	4,417	5.2	14,786	6.1	95.1
第111期	(期首) 2017年 5月15日	4,392	—	14,786	—	95.1
	5月末	4,304	△ 2.0	14,604	△ 1.2	95.4
	(期末) 2017年 6月15日	4,331	△ 1.4	14,739	△ 0.3	95.8
第112期	(期首) 2017年 6月15日	4,306	—	14,739	—	95.8
	6月末	4,330	0.6	14,897	1.1	95.8
	(期末) 2017年 7月18日	4,400	2.2	15,118	2.6	94.7

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

## 投資環境について

（2017. 1. 17 ~ 2017. 7. 18）

## ■新興国債券市況

新興国債券市場では、米国のトランプ大統領の政策運営に対する不透明感が高まり、保護主義への懸念が後退したことや先進国の金融政策をめぐる思惑、また個別国要因が相場を動かす材料となりました。

## ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、憲法改正の国民投票後は政治的不透明感が後退し、中長期の金利が低下しました。南アフリカでは、短期の金利は低下した一方で、政治をめぐる懸念から長期の金利は上昇しました。ロシアでは、インフレ率の鈍化傾向から金利は低下しました。ポーランドでは、金利は一進一退の推移となりました。

## ・ アジア地域

インドネシアでは、金利は低下基調になり、マレーシアでは、中長期の金利が低下しました。インドでは中央銀行が金融緩和姿勢を示さなかったことから、金利はほぼ横ばいの水準となりました。

## ・ 中南米地域

ブラジルやコロンビアでは、インフレ率の鈍化傾向と政策金利の引き下げから金利は低下しました。メキシコでは、対米の通商交渉への懸念が後退したことから金利は低下しました。

## ■為替相場

対円為替相場は、米国の政策運営に対する不透明感の高まりが円高要因となる一方で、世界的に景気が安定した推移となったことが新興国通貨への需要につながり、多くの通貨が対円で上昇しました。

## ・ 欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リラや南アフリカ・ランド、ポーランド・ズロチが対円で上昇した一方で、ロシア・ルーブルは、対欧米での関係改善期待が後退したこともあり、ほぼ横ばいとなりました。

## ・ アジア地域

マレーシア・リングgitは景気改善期待、インド・ルピーはモディ政権の改革期待から、それぞれ対円で上昇した一方、インドネシア・ルピアは円高の影響から下落しました。

## ・ 中南米地域

ブラジル・リアルは、政治をめぐる混乱が下落要因となったものの、景気の改善傾向から対円でほぼ横ばいとなりました。コロンビア・ペソは、景気や財政悪化懸念から対円で下落した一

方、メキシコ・ペソは、対米の通商交渉への懸念が後退したことから上昇しました。

## 前作成期間末における「今後の運用方針」

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ■ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

## ポートフォリオについて

(2017. 1. 17 ~ 2017. 7. 18)

### ■当ファンド

当作成期間を通じて「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないました。

### ■ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。

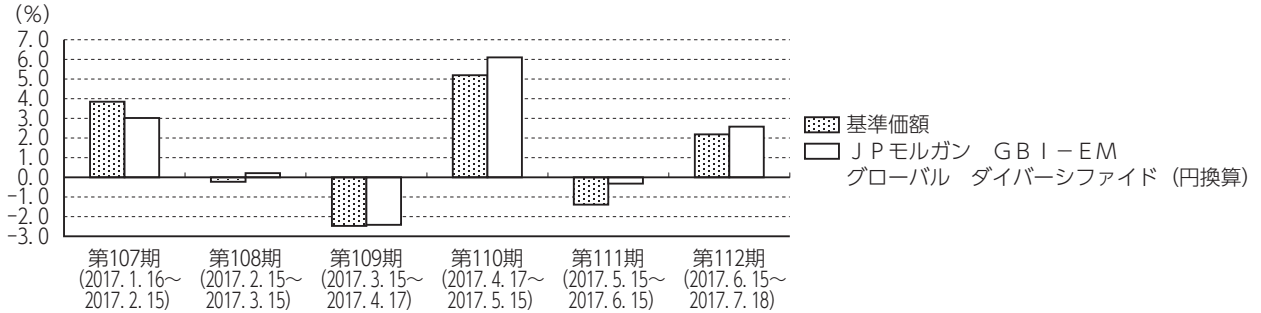
・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ポーランド・ズロチ、ロシア・ルーブル、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リングgit、インド・ルピー、中南米地域ではブラジル・リアル、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソへ投資しました。

金利水準、経済ファンダメンタルズの観点から、2017年2月にポーランド・ズロチを除外し、ロシア・ルーブルへ投資を行ないました。

・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債と国際機関債からなるポートフォリオ構成としました。

## ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。  
以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。



## 分配金について

1万口当り分配金（税込み）は、第107期は35円、第108期～第112期はそれぞれ25円といたしました。

収益分配金の決定根拠は下記の「収益分配金の計算過程（1万口当り）」をご参照ください。  
なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

### 分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	2017年1月17日 ～2017年2月15日	2017年2月16日 ～2017年3月15日	2017年3月16日 ～2017年4月17日	2017年4月18日 ～2017年5月15日	2017年5月16日 ～2017年6月15日	2017年6月16日 ～2017年7月18日
当期分配金（税込み）（円）	35	25	25	25	25	25
対基準価額比率（%）	0.80	0.57	0.59	0.57	0.58	0.57
当期の収益（円）	24	19	22	23	20	25
当期の収益以外（円）	10	5	2	1	4	—
翌期繰越分配対象額（円）	87	81	78	77	73	74

（注1）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。

（注2）円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。

（注3）当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

## ■収益分配金の計算過程（1万口当り）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(a) 経費控除後の配当等収益	24.21円	19.15円	22.24円	23.58円	20.88円	26.56円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(c) 収益調整金	97.90	87.14	81.31	78.57	77.22	73.15
(d) 分配準備積立金	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
(e) 当期分配対象額 (a+b+c+d)	122.11	106.29	103.56	102.15	98.11	99.72
(f) 分配金	35.00	25.00	25.00	25.00	25.00	25.00
(g) 翌期繰越分配対象額 (e-f)	87.11	81.29	78.56	77.15	73.11	74.72

(注) 下線を付した該当項目から分配金を計上しています。



## 今後の運用方針

### ■当ファンド

当ファンドの商品性格に鑑み、「ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド」の受益証券を高位で組み入れ、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

### ■ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。



## 1万口当りの費用の明細

項 目	第107期～第112期 (2017. 1. 17～2017. 7. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	31円	0. 723%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は4, 314円です。
(投 信 会 社)	(14)	(0. 324)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託銀行への運用指図、基準価額の計算、目論見書・運用報告書の作成等の対価
(販 売 会 社)	(16)	(0. 378)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 銀 行)	(1)	(0. 021)	受託銀行分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権総口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝期中の有価証券取引税／期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	3	0. 062	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(2)	(0. 057)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0. 002)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	34	0. 785	

(注 1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注 2) 金額欄は各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

(注 3) 比率欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）

### ■売買および取引の状況

#### 親投資信託受益証券の設定・解約状況

(2017年1月17日から2017年7月18日まで)

決算期	第107期～第112期			
	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド	3,767	4,805	446,218	582,652

(注) 単位未満は切捨て。

### ■利害関係人との取引状況

当作成期間（第107期～第112期）中における利害関係人との取引はありません。

### ■組入資産明細表

#### 親投資信託残高

種類	第112期末		
	口数	口数	評価額
	千口	千口	千円
ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド	2,869,604	2,427,153	3,288,064

(注) 単位未満は切捨て。

### ■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2017年2月15日)、(2017年3月15日)、(2017年4月17日)、(2017年5月15日)、(2017年6月15日)、(2017年7月18日)現在

項目	第107期末	第108期末	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末
<b>(A) 資産</b>	<b>3,725,117,301円</b>	<b>3,553,595,998円</b>	<b>3,366,187,477円</b>	<b>3,494,471,096円</b>	<b>3,396,753,970円</b>	<b>3,336,671,184円</b>
コール・ローン等	50,843,527	41,120,960	40,616,535	39,840,326	39,651,350	38,716,557
ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド（評価額）	3,670,395,588	3,509,090,916	3,325,356,029	3,452,753,885	3,342,474,967	3,288,064,235
未収入金	3,878,186	3,384,122	214,913	1,876,885	14,627,653	9,890,392
<b>(B) 負債</b>	<b>37,302,712</b>	<b>27,652,546</b>	<b>24,666,592</b>	<b>25,252,977</b>	<b>37,869,640</b>	<b>33,096,000</b>
未払収益分配金	29,561,422	20,352,896	19,893,734	19,749,316	19,499,020	18,875,749
未払解約金	3,407,455	3,277,333	177,413	1,608,371	14,079,306	9,707,243
未払信託報酬	4,309,729	3,975,972	4,523,770	3,802,372	4,175,050	4,372,292
その他未払費用	24,106	46,345	71,675	92,918	116,264	140,716
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>3,687,814,589</b>	<b>3,525,943,452</b>	<b>3,341,520,885</b>	<b>3,469,218,119</b>	<b>3,358,884,330</b>	<b>3,303,575,184</b>
元本	8,446,120,776	8,141,158,770	7,957,493,882	7,899,726,462	7,799,608,235	7,550,299,947
次期繰越損益金	△ 4,758,306,187	△ 4,615,215,318	△ 4,615,972,997	△ 4,430,508,343	△ 4,440,723,905	△ 4,246,724,763
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>8,446,120,776口</b>	<b>8,141,158,770口</b>	<b>7,957,493,882口</b>	<b>7,899,726,462口</b>	<b>7,799,608,235口</b>	<b>7,550,299,947口</b>
1万口当り基準価額（C/D）	4,366円	4,331円	4,199円	4,392円	4,306円	4,375円

\* 第106期末における元本額は8,536,794,492円、当作成期間（第107期～第112期）中における追加設定元本額は139,415,884円、同解約元本額は1,125,910,429円です。

\* 第112期末の計算口数当りの純資産額は4,375円です。

\* 第112期末の純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,246,724,763円です。

### ■投資信託財産の構成

2017年7月18日現在

項目	第112期末	
	評価額	比率
	千円	%
ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド	3,288,064	98.5
コール・ローン等、その他	48,606	1.5
投資信託財産総額	3,336,671	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.43円、1トルコ・リラ=31.85円、1メキシコ・ペソ=6.40円、100コロンビア・ペソ=3.71円、1インド・ルピー=1.76円、100インドネシア・ルピア=0.85円、1ブラジル・レアル=35.32円、1ロシア・ルーブル=1.90円、1マレーシア・リンギット=26.20円、1南アフリカ・ランド=8.69円です。

(注3) ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドにおいて、第112期末における外貨建純資産（34,274,077千円）の投資信託財産総額（34,504,567千円）に対する比率は、99.3%です。

■損益の状況

第107期 自 2017年 1月17日 至 2017年 2月15日    第109期 自 2017年 3月16日 至 2017年 4月17日    第111期 自 2017年 5月16日 至 2017年 6月15日  
 第108期 自 2017年 2月16日 至 2017年 3月15日    第110期 自 2017年 4月18日 至 2017年 5月15日    第112期 自 2017年 6月16日 至 2017年 7月18日

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(A) 配当等収益	△ 946円	△ 740円	△ 1,030円	△ 1,065円	△ 1,088円	△ 1,114円
受取利息	4	12	8	3	9	22
支払利息	△ 950	△ 752	△ 1,038	△ 1,068	△ 1,097	△ 1,136
(B) 有価証券売買損益	142,156,799	△ 4,354,046	△ 80,429,034	175,525,826	△ 42,447,117	75,315,465
売買益	142,440,222	956,485	550,116	176,284,534	895,405	76,392,403
売買損	△ 283,423	△ 5,310,531	△ 80,979,150	△ 758,708	△ 43,342,522	△ 1,076,938
(C) 信託報酬等	△ 4,333,835	△ 3,998,211	△ 4,549,100	△ 3,823,673	△ 4,198,402	△ 4,396,744
(D) 当期損益金 (A + B + C)	137,822,018	△ 8,352,997	△ 84,979,164	171,701,088	△ 46,646,607	70,917,607
(E) 前期繰越損益金	△ 1,854,261,860	△ 1,670,547,700	△ 1,653,840,054	△ 1,741,141,180	△ 1,559,766,758	△ 1,566,148,276
(F) 追加信託差損益金	△ 3,012,304,923	△ 2,915,961,725	△ 2,857,260,045	△ 2,841,318,935	△ 2,814,811,520	△ 2,732,618,345
(配当等相当額)	( 82,688,064)	( 70,942,665)	( 64,705,932)	( 62,072,188)	( 60,234,170)	( 55,234,935)
(売買損益相当額)	(△ 3,094,992,987)	(△ 2,986,904,390)	(△ 2,921,965,977)	(△ 2,903,391,123)	(△ 2,875,045,690)	(△ 2,787,853,280)
(G) 合計 (D + E + F)	△ 4,728,744,765	△ 4,594,862,422	△ 4,596,079,263	△ 4,410,759,027	△ 4,421,224,885	△ 4,227,849,014
(H) 収益分配金	△ 29,561,422	△ 20,352,896	△ 19,893,734	△ 19,749,316	△ 19,499,020	△ 18,875,749
次期繰越損益金 (G + H)	△ 4,758,306,187	△ 4,615,215,318	△ 4,615,972,997	△ 4,430,508,343	△ 4,440,723,905	△ 4,246,724,763
追加信託差損益金	△ 3,021,414,127	△ 2,920,721,799	△ 2,859,451,297	△ 2,842,437,560	△ 2,818,020,673	△ 2,732,618,345
(配当等相当額)	( 73,578,860)	( 66,182,591)	( 62,514,680)	( 60,953,563)	( 57,025,017)	( 55,234,935)
(売買損益相当額)	(△ 3,094,992,987)	(△ 2,986,904,390)	(△ 2,921,965,977)	(△ 2,903,391,123)	(△ 2,875,045,690)	(△ 2,787,853,280)
分配準備積立金	—	—	—	—	—	1,183,438
繰越損益金	△ 1,736,892,060	△ 1,694,493,519	△ 1,756,521,700	△ 1,588,070,783	△ 1,622,703,232	△ 1,515,289,856

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は「収益分配金の計算過程（総額）」の表をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
(a) 経費控除後の配当等収益	20,452,218円	15,592,822円	17,702,482円	18,630,691円	16,289,867円	20,059,187円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0	0	0	0	0	0
(c) 収益調整金	82,688,064	70,942,665	64,705,932	62,072,188	60,234,170	55,234,935
(d) 分配準備積立金	0	0	0	0	0	0
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	103,140,282	86,535,487	82,408,414	80,702,879	76,524,037	75,294,122
(f) 分配金	29,561,422	20,352,896	19,893,734	19,749,316	19,499,020	18,875,749
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	73,578,860	66,182,591	62,514,680	60,953,563	57,025,017	56,418,373
(h) 受益権総口数	8,446,120,776口	8,141,158,770口	7,957,493,882口	7,899,726,462口	7,799,608,235口	7,550,299,947口

収 益 分 配 金 の お 知 ら せ						
1 万口当り分配金	第107期	第108期	第109期	第110期	第111期	第112期
	35円	25円	25円	25円	25円	25円
(単 価)	(4, 366円)	(4, 331円)	(4, 199円)	(4, 392円)	(4, 306円)	(4, 375円)

- 〈分配金再投資コース〉をご利用の方の税引き分配金は、上記( )内の基準価額に基づいて自動的に再投資いたしました。

#### 分配金の課税上の取扱いについて

- ・分配金には、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」があります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または個別元本を上回る場合には、分配金の全額が普通分配金となります。
- ・分配落ち後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）、残りの額が普通分配金です。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・普通分配金については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による源泉徴収が行なわれ、申告不要制度が適用されます。なお、確定申告を行ない、申告分離課税または総合課税（配当控除の適用はありません。）を選択することもできます。
- ・法人の受益者の場合、税率が異なります。
- ・税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。くわしくは、販売会社にお問い合わせください。
- ・課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。

当ファンドは少額投資非課税制度「NISA（ニーサ）」および未成年者少額投資非課税制度「ジュニアNISA」の適用対象です。非課税口座における取扱いについては販売会社にお問い合わせください。

# ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

## 運用報告書 第19期 (決算日 2017年7月18日)

(計算期間 2017年1月17日～2017年7月18日)

ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンドの第19期にかかる運用状況をご報告申し上げます。

### ★当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	海外の債券
運用方法	<p>①主として、エマージング諸国の現地通貨建債券に分散投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。</p> <p>②投資にあたっては、以下の点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>イ. J Pモルガン ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケットズ ブロードの構成国を参考に投資対象通貨を選定します。</p> <p>ロ. 通貨の地域配分にあたっては、欧州・中東・アフリカ地域、アジア地域、中南米地域の3地域へ均等とすることをめざします。</p> <p>ハ. 各地域ごとに3通貨を選定して均等に配分することをめざします。通貨の選定にあたっては、各国の金利水準、経済ファンダメンタルズ、流動性等から判断し、年2回以上見直しを行ないます。なお流動性、市場状況等によっては通貨数が異なる場合があります。</p> <p>ニ. 投資する債券は、各国の政府、政府関係機関および国際機関等が発行するものとし、取得時においてB B格相当以上（ムーディーズでB a 3以上またはS &amp; PでB B -以上）とします。</p> <p>ホ. ポートフォリオの修正デュレーションは1（年）程度から3（年）程度の範囲とします。</p> <p>③為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。</p>
株式組入制限	純資産総額の10%以下

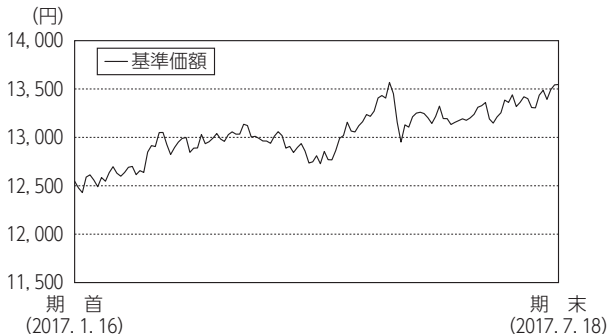
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

■当期中の基準価額と市況の推移



【運用経過】

◆基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

期首：12,547円 期末：13,547円 騰落率：8.0%

【基準価額の主な変動要因】

新興国通貨建ての債券に投資した結果、各国の通貨が円に対して上昇したことや投資している債券の値上がり、債券の利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆投資環境について

○新興国債券市場

新興国債券市場では、米国のトランプ大統領の政策運営に対する不透明感が高まり、保護主義への懸念が後退したことや先進国の金融政策をめぐる思惑、また個別国要因が相場を動かす材料となりました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコでは、憲法改正の国民投票後は政治的不透明感が後退し、中長期の金利が低下しました。南アフリカでは、短期の金利は低下した一方で、政治をめぐる懸念から長期の金利は上昇しました。ロシアでは、インフレ率の鈍化傾向から金利は低下しました。ポーランドでは、金利は一進一退の推移となりました。

・アジア地域

インドネシアでは、金利は低下基調になり、マレーシアでは、中長期の金利が低下しました。インドでは、中央銀行が金融緩和姿勢を示さなかったことから、金利はほぼ横ばいの水準となりました。

・中南米地域

ブラジルやコロンビアでは、インフレ率の鈍化傾向と政策金利の引き下げから金利は低下しました。メキシコでは、対米の通商交渉への懸念が後退したことから金利は低下しました。

○為替相場

対円為替相場は、米国の政策運営に対する不透明感の高まりが円高要因となる一方で、世界的に景気が安定した推移となったことから新興国通貨への需要につながり、多くの通貨が対円で上昇しました。

・欧州・中東・アフリカ地域

トルコ・リヤや南アフリカ・ランド、ポーランド・ズロチが対円で上昇した一方で、ロシア・ルーブルは、対欧米での関係改善期待が後退したこともあり、ほぼ横ばいとなりました。

・アジア地域

マレーシア・リングgitは景気改善期待、インド・ルピーはモディ政権の改革期待から、それぞれ対円で上昇した一方、インドネシア・ルピアは円高の影響から下落しました。

・中南米地域

ブラジル・リアルは、政治をめぐる混迷が下落要因となったものの、景気の改善傾向から対円でほぼ横ばいとなりました。コロンビア・ペソは、景気や財政悪化懸念から対円で下落した一方、メキシコ・ペソは、対米の通商交渉への懸念が後退したことから上昇しました。

◆前期における「今後の運用方針」

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは約1(年)程度～3(年)程度でコントロールします。

年月日	基準価額		J.P. Morgan GBI-EM グローバルダイバーシファイド (円換算)		公社債 組入 比率
	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2017年1月16日	円	%	13,833	%	%
1月末	12,630	0.7	13,934	0.7	96.1
2月末	12,889	2.7	14,159	2.4	95.4
3月末	13,059	4.1	14,510	4.9	96.2
4月末	13,056	4.1	14,396	4.1	96.2
5月末	13,144	4.8	14,604	5.6	95.8
6月末	13,319	6.2	14,897	7.7	96.3
(期末) 2017年7月18日	13,547	8.0	15,118	9.3	95.1

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) J.P. Morgan GBI-EMグローバルダイバーシファイド(円換算)は、J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和投資信託が計算したものです。J.P. Morgan ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット グローバルダイバーシファイド(米ドルベース)は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 公社債組入比率は新株予約権付社債券(転換社債券)および債券先物を除きます。

◆ポートフォリオについて

- ・通貨配分に関しては、基本的な商品性格に基づき、各地域均等、各地域内の投資通貨においても均等となることをめざしました。
- ・欧州・中東・アフリカ地域においては、トルコ・リラ、南アフリカ・ランド、ポーランド・ズロチ、ロシア・ルーブル、アジア地域ではインドネシア・ルピア、マレーシア・リンギット、インド・ルピー、中南米地域ではブラジル・レアル、コロンビア・ペソ、メキシコ・ペソへ投資しました。  
金利水準、経済ファンダメンタルズの観点から、2017年2月にポーランド・ズロチを除外し、ロシア・ルーブルへ投資を行ないました。
- ・債券ポートフォリオの金利リスクについては、修正デュレーションで1（年）程度～3（年）程度でコントロールしました。また、組入債券の種別構成については、現地通貨建国債と国際機関債からなるポートフォリオ構成としました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当期中の基準価額と市況の推移」をご参照ください。

《今後の運用方針》

欧州・中東・アフリカ、アジア、中南米の3地域で地域分散を図り、その地域内で3通貨ずつ、計9通貨の高金利債券に投資することで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。

金利リスクを表す修正デュレーションは1（年）程度～3（年）程度でコントロールします。

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用 (保管費用)	8 ( 7)
(その他)	( 0)
合 計	8

(注1) 期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。費用の項目および算出法については前掲の「1万口当りの費用の明細」の項目の概要をご参照ください。

(注2) 各項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

公 社 債

(2017年1月17日から2017年7月18日まで)

		買付額	売付額
外	トルコ	千トルコ・リラ 47,338	千トルコ・リラ 29,280 ( —)
		特殊債券	12,742
外	メキシコ	千メキシコ・ペソ 103,210	千メキシコ・ペソ 120,160 ( 100,000)
		特殊債券	34,711
外	コロンビア	千コロンビア・ペソ 5,978,005	千コロンビア・ペソ 19,622,490 ( —)
		国債証券	—
外	インド	千インド・ルピー —	千インド・ルピー 362,722 ( —)
		特殊債券	—
外	インドネシア	千インドネシア・ルピア —	千インドネシア・ルピア 44,880,900 ( 40,000,000)
		特殊債券	—
外	ブラジル	千ブラジル・レアル —	千ブラジル・レアル 10,941 ( 3,000)
		国債証券	—
外	ロシア	千ロシア・ルーブル 2,300,865	千ロシア・ルーブル 388,745 ( —)
		国債証券	—
国	マレーシア	千マレーシア・リンギット —	千マレーシア・リンギット 16,247 ( —)
		国債証券	—
国	南アフリカ	千南アフリカ・ランド —	千南アフリカ・ランド 65,231 ( —)
		特殊債券	39,652
国	ポーランド	千ポーランド・ズロチ —	千ポーランド・ズロチ 150,170 ( —)
		国債証券	—

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ( )内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

# ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

## ■主要な売買銘柄

### 公 社 債

(2017年1月17日から2017年7月18日まで)

当 期		期	
買 付	金 額	売 付	金 額
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
	千円		千円
Russian Federal Bond - OFZ (ロシア) 6.7% 2019/5/15	3,775,240	Poland Government Bond (ポーランド) 5.25% 2017/10/25	1,899,426
Turkey Government Bond (トルコ) 6.3% 2018/2/14	753,312	Poland Government Bond (ポーランド) 5.5% 2019/10/25	1,434,635
Turkey Government Bond (トルコ) 11% 2022/3/2	582,279	Turkey Government Bond (トルコ) 6.3% 2018/2/14	772,748
Mexican Bonos (メキシコ) 8% 2020/6/11	575,084	Russian Federal Bond - OFZ (ロシア) 6.7% 2019/5/15	758,995
Russian Federal Bond - OFZ (ロシア) 8.15% 2027/2/3	502,299	Poland Government Bond (ポーランド) 1.5% 2020/4/25	668,436
EUROPEAN INVESTMENT BANK (国際機関) 6.75% 2017/9/15	334,266	Mexican Bonos (メキシコ) 7.75% 2017/12/14	437,017
KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU (ドイツ) 8.5% 2017/9/19	295,898	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA (南アフリカ) 8.25% 2017/9/15	427,557
Colombian TES (コロンビア) 7.5% 2026/8/26	226,566	Colombian TES (コロンビア) 5% 2018/11/21	372,806
Russian Federal Bond - OFZ (ロシア) 7.5% 2021/8/18	191,264	Colombian TES (コロンビア) 11.25% 2018/10/24	372,559
INTL. FIN. CORP. (国際機関) 3.78% 2018/8/22	161,787	India Government Bond (インド) 7.28% 2019/6/3	348,326

(注1) 金額は受渡し代金(経過利子分は含まれておりません)。

(注2) 単位未満は切捨て。

## ■組入資産明細表

### (1) 外国(外貨建) 公社債(通貨別)

区 分	額 面 金 額	当 期		組入比率	うちBB格 以下組入 比	残存期間別組入比率		
		評 価 額				5年以上	2年以上	2年未満
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額					
トルコ	千トルコ・リラ 110,000	千トルコ・リラ 110,054	千円 3,505,228	% 10.2	% —	% 3.2	% 1.7	% 5.3
メキシコ	千メキシコ・ペソ 598,450	千メキシコ・ペソ 598,311	3,829,193	11.1	—	0.6	5.5	4.9
コロンビア	千コロンビア・ペソ 89,500,000	千コロンビア・ペソ 94,317,370	3,499,174	10.2	—	1.2	—	9.0
インド	千インド・ルピー 2,000,000	千インド・ルピー 2,067,070	3,638,044	10.6	—	2.0	—	8.6
インドネシア	千インドネシア・ルピア 388,000,000	千インドネシア・ルピア 395,570,370	3,362,348	9.8	—	1.3	1.3	7.2
ブラジル	千ブラジル・レアル 110,000	千ブラジル・レアル 109,055	3,851,828	11.2	—	4.5	4.7	2.0
ロシア	千ロシア・ルーブル 1,950,000	千ロシア・ルーブル 1,933,627	3,673,892	10.7	—	1.4	0.5	8.7
マレーシア	千マレーシア・リンギット 145,000	千マレーシア・リンギット 145,971	3,824,443	11.1	—	—	4.3	6.8
南アフリカ	千南アフリカ・ランド 406,000	千南アフリカ・ランド 414,193	3,599,342	10.4	—	1.7	—	8.8
合計	—	—	32,783,495	95.1	—	16.0	18.1	61.1

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注4) 評価額および格付情報については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。



(2) 外国 (外貨建) 公社債 (銘柄別)

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	未 評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千 トルコ・リラ	千 トルコ・リラ	
トルコ	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	25,000	24,762	788,685	2019/03/27
	Turkey Government Bond	国債証券	10.4000	24,000	24,072	766,700	2024/03/20
	Turkey Government Bond	国債証券	10.6000	10,000	10,200	324,870	2026/02/11
	Turkey Government Bond	国債証券	11.0000	18,000	18,333	583,906	2022/03/02
	KFW—KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	8.5000	24,000	23,838	759,270	2017/09/19
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	9.6250	3,000	2,967	94,509	2018/07/13
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	9.2500	4,000	3,973	126,559	2018/07/20
	ASIAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	0.5000	2,000	1,906	60,726	2017/12/19
	通貨小計	銘柄数 金 額	8銘柄		110,000	110,054	3,505,228
メキシコ	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	230,000	230,857	1,477,490	2017/12/14
	Mexican Bonos	国債証券	8.0000	90,000	93,301	597,127	2020/06/11
	Mexican Bonos	国債証券	7.7500	32,000	34,075	218,081	2031/05/29
	Petroleos Mexicanos	特殊債券	7.6500	210,000	205,012	1,312,080	2021/11/24
	INTL. FIN. CORP.	特殊債券	3.7800	30,000	28,888	184,886	2018/08/22
	INTL. FIN. CORP.	特殊債券	3.7600	6,450	6,176	39,527	2018/12/18
通貨小計	銘柄数 金 額	6銘柄		598,450	598,311	3,829,193	
コロンビア	Colombia Government International Bond	国債証券	9.8500	4,000,000	5,091,080	188,879	2027/06/28
	Colombian TES	国債証券	5.0000	37,000,000	37,002,960	1,372,809	2018/11/21
	Colombian TES	国債証券	7.5000	5,500,000	5,843,530	216,794	2026/08/26
	Colombian TES	国債証券	11.2500	43,000,000	46,379,800	1,720,690	2018/10/24
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄		89,500,000	94,317,370	3,499,174	
インド	India Government Bond	国債証券	7.2800	1,650,000	1,678,677	2,954,471	2019/06/03
	India Government Bond	国債証券	8.8300	200,000	221,094	389,125	2023/11/25
	India Government Bond	国債証券	8.1700	150,000	167,299	294,447	2044/12/01
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄		2,000,000	2,067,070	3,638,044	
インドネシア	Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.2500	20,000,000	21,124,600	179,559	2036/05/15
	Indonesia Treasury Bond	国債証券	8.7500	30,000,000	32,613,300	277,213	2044/02/15
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.7500	50,000,000	50,063,000	425,535	2017/12/04
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	5.2000	55,000,000	51,522,900	437,944	2022/03/01
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	7.2500	23,000,000	22,988,270	195,400	2017/08/22
	EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT	特殊債券	10.0000	140,000,000	146,759,200	1,247,453	2018/11/16
	INTER-AMERICAN DEVELOPMENT BANK	特殊債券	7.2000	70,000,000	70,499,100	599,242	2018/01/22
	通貨小計	銘柄数 金 額	7銘柄		388,000,000	395,570,370	3,362,348
ブラジル	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	45,000	45,686	1,613,638	2021/01/01
	Brazil Notas do Tesouro Nacional Serie F	国債証券	10.0000	44,000	44,253	1,563,047	2023/01/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	12,000	11,119	392,751	2018/07/01
	Brazil Letras do Tesouro Nacional	国債証券	—	9,000	7,995	282,391	2019/01/01
通貨小計	銘柄数 金 額	4銘柄		110,000	109,055	3,851,828	

# ダイワ・エマージング高金利債券マザーファンド

区 分	銘 柄	種 類	年 利 率	額 面 金 額	評 価 額		償 還 年 月 日
					外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額	
					千円	千円	
ロシア	Russian Federal Bond - OFZ	国債証券	8.1500	千ロシア・ルーブル 250,000	千ロシア・ルーブル 259,817	493,653	2027/02/03
	Russian Federal Bond - OFZ	国債証券	6.7000	1,600,000	1,574,896	2,992,302	2019/05/15
	Russian Federal Bond - OFZ	国債証券	7.5000	100,000	98,914	187,936	2021/08/18
通貨小計	銘柄数 金 額	3銘柄		1,950,000	1,933,627	3,673,892	
マレーシア	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	4.2400	千マレーシア・リンギット 20,000	千マレーシア・リンギット 20,118	527,091	2018/02/07
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	4.3780	39,000	39,783	1,042,327	2019/11/29
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.5800	4,000	4,012	105,132	2018/09/28
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.2600	65,000	65,033	1,703,868	2018/03/01
	MALAYSIAN GOVERNMENT	国債証券	3.6590	17,000	17,023	446,023	2020/10/15
通貨小計	銘柄数 金 額	5銘柄		145,000	145,971	3,824,443	
南アフリカ	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.2500	千南アフリカ・ランド 76,000	千南アフリカ・ランド 76,058	660,948	2017/09/15
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	8.0000	45,000	45,323	393,857	2018/12/21
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	国債証券	10.5000	60,000	67,144	583,483	2026/12/21
	KFW-KREDIT WIEDERAUFBAU	特殊債券	5.0000	15,000	14,912	129,588	2017/10/04
	INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT	特殊債券	6.6250	75,000	74,607	648,341	2017/12/05
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	9.0000	75,000	76,316	663,188	2018/12/21
	EUROPEAN INVESTMENT BANK	特殊債券	6.7500	40,000	39,941	347,092	2017/09/15
	African Development Bank	特殊債券	6.6250	20,000	19,889	172,842	2017/12/09
通貨小計	銘柄数 金 額	8銘柄		406,000	414,193	3,599,342	
合 計	銘柄数 金 額	48銘柄				32,783,495	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成

2017年7月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 32,783,495	% 95.0
コール・ローン等、その他	1,721,072	5.0
投資信託財産総額	34,504,567	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、7月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル=112.43円、1トルコ・リラ=31.85円、1メキシコ・ペソ=6.40円、100コロンビア・ペソ=3.71円、1インド・ルピー=1.76円、100インドネシア・ルピア=0.85円、1ブラジル・リアル=35.32円、1ロシア・ルーブル=1.90円、1マレーシア・リンギット=26.20円、1南アフリカ・ランド=8.69円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(34,274,077千円)の投資信託財産総額(34,504,567千円)に対する比率は、99.3%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2017年7月18日現在

項 目	当 期 末
<b>(A) 資産</b>	<b>34,728,899,182円</b>
コール・ローン等	853,364,479
公社債（評価額）	32,783,495,603
未収入金	324,109,173
未収利息	697,523,704
前払費用	70,406,223
<b>(B) 負債</b>	<b>272,409,417</b>
未払金	224,465,364
未払解約金	47,933,253
その他未払費用	10,800
<b>(C) 純資産総額（A－B）</b>	<b>34,456,489,765</b>
元本	25,433,850,874
次期繰越損益金	9,022,638,891
<b>(D) 受益権総口数</b>	<b>25,433,850,874口</b>
1万口当り基準価額（C／D）	13,547円

\*期首における元本額は30,043,161,283円、当期中における追加設定元本額は145,469,568円、同解約元本額は4,754,779,977円です。

\*当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額は、ダイワ成長国セレクト債券ファンド（毎月決算型）22,613,909,809円、ダイワ成長国セレクト債券ファンド（年1回決算型）385,889,936円、ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（毎月分配型）2,427,153,049円、ダイワ・エマージング高金利債券ファンド（年1回決算型）6,898,080円です。

\*当期末の計算口数当りの純資産額は13,547円です。

■損益の状況

当期 自2017年1月17日 至2017年7月18日

項 目	当 期
<b>(A) 配当等収益</b>	<b>1,327,508,736円</b>
受取利息	1,327,617,096
支払利息	△ 108,360
<b>(B) 有価証券売買損益</b>	<b>1,472,846,911</b>
売買益	1,879,473,560
売買損	△ 406,626,649
<b>(C) その他費用</b>	<b>△ 21,451,067</b>
<b>(D) 当期損益金（A＋B＋C）</b>	<b>2,778,904,580</b>
<b>(E) 前期繰越損益金</b>	<b>7,651,751,612</b>
<b>(F) 解約差損益金</b>	<b>△ 1,452,344,612</b>
<b>(G) 追加信託差損益金</b>	<b>44,327,311</b>
<b>(H) 合計（D＋E＋F＋G）</b>	<b>9,022,638,891</b>
次期繰越損益金（H）	9,022,638,891

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。